

事務事業名		雲南市シルバー人材センター補助事業		所属部	健康福祉部	所属課	健康福祉総務課				
総合計画体系	政策名	(Ⅲ)支えあい健やかに暮らせるまち《保健・医療・福祉》		所属G	総務G	課長名	板持 徳生				
	施策名	(21)高齢者福祉の充実		担当者名	藤江 興希	電話番号	0854-40-1041 (内線) 2131				
	目的対象	65歳以上の市民	意図	生きがいをもち、住み慣れた地域で安心して暮らす。							
	基本事業名	(062)社会参加活動の推進		予算科目	会計	款	大事業	大事業名			
目的対象	65歳以上の市民	意図	地域とのつながりを持つ。				地域福祉総務管理事業				
				0	1	1	5	0	1	事業名	
				0	5	2	0	7	6	中事業	雲南市シルバー人材センター補助金

1 現状把握 [DO]

(1) 事業概要

① 事業期間	
<input type="checkbox"/> 単年度のみ	<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ( H16 年度～ )
<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度～ 年度 )	
② 事業内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)	
高齢者等の雇用の安定等に関する法律に基づき組織された(公社)雲南市シルバー人材センターが、就労の機会と場の提供を行うことにより、健康で豊かな老後の充実を図り、地域社会づくりに寄与することを目的に取り組む事業、活動に対して補助を行う。会員の労働で得た収入の大半は賃金として会員に支払われるため、運営に係る人件費等を国と市が補助している。また、間接支援として、会員・就業機会の拡大のための広報活動等の協力を行う。	

(2) 事務事業の手段・指標

手段	① 主な活動						
	R2年度実績(R2年度に行った主な活動)	R3年度計画(R3年度に計画する主な活動)					
	・補助金交付 ・広報活動支援	前年度と同じ。					
	② 活動指標		単位	H30年度(実績)	R元年度(実績)	R2年度(実績)	R3年度(計画)
ア	補助金額	千円	13,821	13,821	13,821	14,714	
イ							
ウ							
エ							

(3) 事務事業の目的・指標

目的	① 対象(誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標	単位	H30年度(実績)	R元年度(実績)	R2年度(実績)	R3年度(計画)	
	65歳以上の市民	ア	65歳以上の高齢者数	人	14,437	14,413	14,367	14,367
		イ	人材センター正会員数	人	414	428	436	470
		ウ						
② 意図(対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標	単位	H30年度(実績)	R元年度(実績)	R2年度(実績)	R3年度(計画)		
生きがいをもち、いきいきと暮らす(高齢者が就労を通して、健康で豊かな老後を送れるようにする)。	ア	就業延人数	人	29,580	33,458	32,523	32,523	
	イ	就業率	%	90.6	87.1	83.7	83.7	
	ウ	作業契約金額	千円	170,190	198,225	194,807	194,807	

(4) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (2年度決算)		② コストの推移		単位	H30年度(決算)	R元年度(決算)	R2年度(決算)	R3年度(計画)
事業運営に対する補助金:13,821千円 (国と同額)		事業費	財源内訳	千円				
			国庫支出金	千円				
			県支出金	千円				
			地方債	千円				
			その他	千円				
		一般財源	千円	13,821	13,821	13,821	14,714	
		事業費計(A)	千円	13,821	13,821	13,821	14,714	
人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1			
	延べ業務時間	時間	20	20	20			
	人件費計(B)	千円	87	85	84			
トータルコスト(A)+(B)		千円	13,908	13,906	13,905			

(5) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
高齢者等の雇用の安定等に関する法律により事業を実施しており、平成25年度より公益社団法人へ移行された。国の補助金と同額を市町村が補助する仕組みであるが、厚生労働省の予算が年々拡大してきており、市の予算化が厳しい状況にある。	会員・就業機会の拡大につなげるため、広報誌掲載、文字放送の利用など、改善に取り組んでいる。R3に補助額を増額したが、事業対象者の要求通りの金額には至っていない。	労働による収入は会員に還元する事業形態であり、運営に係る費用は国および市が補助。事業対象者からは、事業拡大に向け活動を強化する中、補助額を増額して欲しいとの意見が寄せられている。

事務事業名	雲南市シルバー人材センター補助事業	所属部	健康福祉部	所属課	健康福祉総務課
-------	-------------------	-----	-------	-----	---------

2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？		見直し余地があると理由																							
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている *余地がある場合⇒																								
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して達成する目的か？																									
B 有効性	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加する必要はないか？意図を限定・拡充する必要はないか？																									
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である *余地がある場合⇒																								
	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方ははないか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？																									
C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	理由	会員数の拡大及び就業機会の拡大により、成果の向上が期待できる。																							
	<input type="checkbox"/> 向上余地がない																									
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？		理由	高齢者等の雇用の安定等に関する法律に基づいており、廃止・休止はできない。																						
<input type="checkbox"/> 影響無	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有																									
D 公平性	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？		理由																							
	<input type="checkbox"/> 他に手段がある *ある場合⇒ (具体的な手段や類似事業名)	<input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる		他に同様な事業がない。																						
	<input type="checkbox"/> 他に手段がない	<input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない																								
⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)		理由	補助の減額は事業運営に大きく影響することから、当面これ以上の削減は困難である。																							
<input type="checkbox"/> 削減余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない																									
⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？		理由	補助金の交付事務が主であり、必要最小限度の業務量である。																							
<input type="checkbox"/> 削減余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない																									
⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？		理由	高齢者等の雇用の安定等に関する法律に基づく。 高齢者福祉対策事業であり、受益者も多く公平・公正である。																							
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である																									
評価の 総括	① 1次評価者としての評価結果		② 1次評価結果の総括(根拠と理由)																							
	A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																								
		B 有効性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり																							
		C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																							
		D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																							
① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		② 改革・改善による期待成果																								
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)		<table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>				コスト					削減	維持	増加	成果	向上		●		維持			×	低下		×	×
		コスト																								
		削減	維持	増加																						
成果	向上		●																							
	維持			×																						
	低下		×	×																						
会員増強及び就業拡大につながるよう、可能な範囲での支援を行う。		廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。																								

3 今後の方向性【PLAN】